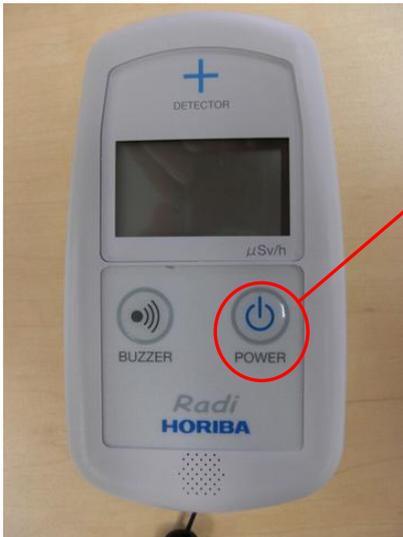


放射線測定器（Radi）の使い方

白岡市 環境課

①電源を ON にします。

電源ボタンをピッとブザーの音が出るまで押してください。（長めに押す。）
ピッと音が出たら準備 OK です。



ピッとブザーの音が出るまで押してください。（長めに押す。）

②ブザーが鳴り、画面が表示されます。

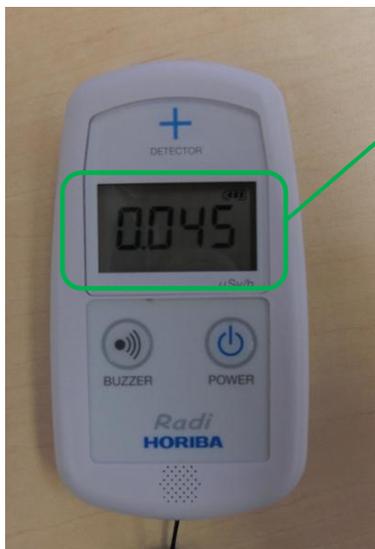
電源を ON にするとブザーが1回発音した後、数字 35 が点灯し、1 秒ごとに数字が1つつ減ります。（測定の準備中）



電源を ON にするとブザーが1回発音し、数字 35 が点灯し、1 秒ごとに数字が1つつ減ります。

③ウォームアップします。

電源を ON した後35秒以降は放射線の測定値を表示します。



この部分に測定値が指示されます。

④測定器を測定場所におきます。

液晶表示部の前方についている「+」マークの下に放射線を検知するセンサーがあります。センサーが放射線を検知すると放射線の量に応じた表示がでます。※地表面等に置く場合にはビニール袋を敷くなどして、直接測定器を置かないようにしてください。測定器に放射性物質（土等）が付着しますと、正確な測定が出来なくなります。また敷いたビニールも同様です。放射性物質（土等）が付着した場合は、新しいものを使用してください。

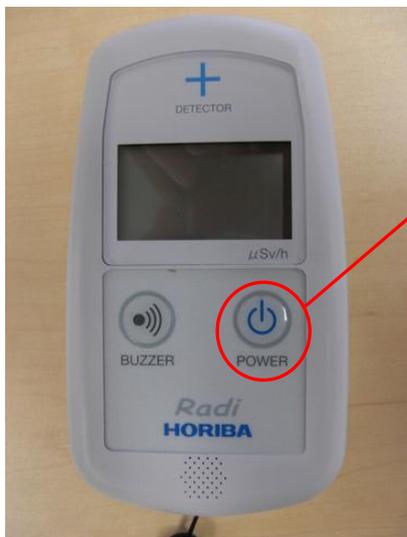


この部分の下に放射線を感じ取るセンサーがあります。

※1 分間の測定平均値を表示します。測定場所に設置して、1分以上経過してから測定を開始してください。

⑤電源を切ります。

測定が終わりましたら、電源ボタンを押し、電源を切ってください。（画面表示が消えるように）



画面表示が消えるまでボタンを押してください。（音は出ません）

※ブザーボタンについて（使用してもしなくても測定結果には影響ありません）
ブザーボタンを押すと液晶表示部の左上に**計数音発生マーク**が点灯し、放射線
を感知するごとにブザーを発音します。

ブザーボタンをもう一度押すと**計数音発生マーク**が消灯し、発音しなくなります。
間違えて押ししてしまった場合には再度**ブザーボタン**を押してください。



ブザーボタン OFF



ブザーボタン

計数音発生マーク

ブザーボタン

ブザーボタンを押すたびに
ON・OFF が切り替わります。

使うときに守らなければならないこと

- 水の中に入れないこと
- 水のしずくが付いた状態で使わないこと
- ボールペンやドライバーなど先のとがっているものでボタンやブザー穴を突かないこと
⇒ 故障の原因になります

正しく測定するために、注意すること

- 振動や衝撃のある状態で測定しないで下さい。
- 温度が -5°C 以下、 40°C 以上となる場所では、使用しないで下さい。
⇒ 正確な測定ができません。
- 使用中の携帯電話、PHS、電子レンジ、テレビ、蛍光灯、無線機などのそばでは使わないで下さい。
⇒ ノイズが入り、正確な測定ができないことがあります。

測定Q&A

Q. 測定器を動かしていないのに、値が変わるのは？

A. 放射線を出す物質の性質によって、その場所の放射線の量がわずかに変化しているためです。何回か測定して平均すると、より信頼できる値になります。

Q. 測定器を置く場所や向きは測定値に影響しますか？

A. 自然放射線はいろいろな方向からやってくるので、自然放射線を測定するときには測定器を置く場所や向きは気にしなくてもかまいません。水平に置くか手に持つだけで測定できます。

Q. 電源ONしたけど、35→数字が表示されている

A. 電源ON直後の約 35 秒間はウォームアップ中のため、測定値は表示されません。ウォームアップが済み次第、測定値が表示されます。

Q. 雨が降ると表示の値が高くなる？

A. 一般的に雨が降ると表示値は高くなる傾向があります。雨の中には様々な物質が含まれており、その中には放射性物質も含まれているからです。

